

子育てを地域で応援しましょう

令和7年度～

町では、育児を援助しようとする人(提供会員)と援助を受けたい人(依頼会員)同士が助け合う相互援助組織「猪苗代町ファミリー・サポート・センター」を設置し、子育て援助活動支援事業を始めました。

■センターの場所

猪苗代町字五百苅132番地2(町児童館内)

■援助活動の内容

保護者の疾病や外出等の際の児童(未就学児に限る)の預かり
※児童の預かりを行う場所は、町児童館です。

■利用時間・料金

○平日・土曜日の午前9時から午後5時まで

○1時間当たり600円

※利用料金は、援助活動終了後、依頼会員から提供会員へお支払いください。

■会員登録

事業を利用するためには、事前にセンターに会員登録を行う必要があります。提供会員になるためには、センターの指定する講習の受講が必要です。

■利用方法

育児の援助を希望する依頼会員は、センターに申し込みを行ってください。センターが条件に合った提供会員とのマッチングを行い、会員同士の最終的な合意により援助活動実施となります。

詳細は、センター事務局(NPO法人子育てサロン日向ぼっこ)にお問い合わせください。

■問い合わせ先

NPO法人子育てサロン日向ぼっこ ☎(62)5167

保健福祉課 社会福祉係 ☎(62)2115

妊娠から出産、子育てまでをフルサポート

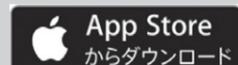
猪苗代町
子育てアプリ
by 母子モ

「猪苗代町子育てアプリ」では、妊娠中や子育て中のママ・パパがスマートフォンを使って、子どもの成長記録や予防接種のスケジュール管理、子育てに役立つ情報などを気軽に利用することができます。利用料金は無料です(通信料は利用者負担です)。

アプリストアからダウンロード!



または



Pick Up

今月の話題

合併70周年記念 ロゴマーク完成

発表会にオンラインで参加した小室さん(右)と二瓶町長



猪苗代町は今年、合併70周年を迎えることから、これを記念したロゴマークを作成しました。デザインは、平成28年から地域連携協定を締結している東京学芸大学の学生に依頼。7点の作品が寄せられ、学校教育教員養成課程3年の小室和歌さんの作品が選ばれました。

数字の「0」は、町のシンボルのハクチョウと磐梯山をモチーフにし、野口英世博士の顔には、ひらがなとローマ字で猪苗代の文字と数字の「70」が隠れたデザインになっています。

5月16日には、町役場でロゴマーク記者発表会を開催。二瓶盛一町長が「猪苗代町の歴史と未来をつなぐシンボルにした」とあいさつ。小室さんは、「野口英世博士と現代を生きる私たちがつながっていること、そして未来へつなげていくことを意識して作成しました」とデザインに込めた思いを話しました。



今月の表紙

猪苗代第二小の5年生が、田植えに挑戦しました。転ばないようにバランスを取りながら苗を植える子どもたちでしたが、中には転んでしまう子も。田んぼに引いた線に沿って黙々と苗を植えた皆川琉季さんは、「転んだけど、楽しかったです」と話してくれました(関連9ページ)。

【撮影日】5月27日
【撮影場所】入江地区

Contents — 【目次】

- 02 Pick Up
- 03 子育てを地域で応援しましょう
- 04 町内小学校 運動会
- 06 まちのわだい
- 08 ホットニュース/地域おこし協力隊通信
- 09 スクールトピックス
- 10 総合健診のお知らせ
- 12 いなわしろタウンページ
- 18 暮らしの情報広場
- 20 みんなの美術館/食生活改善推進員コーナー

